



MIDLAND 様

2018 N-ONE OWNER'S CUP Rd.11

レースレポート

#127 MLヌヴォラーリET N-ONE

ドライバー 小林天翔

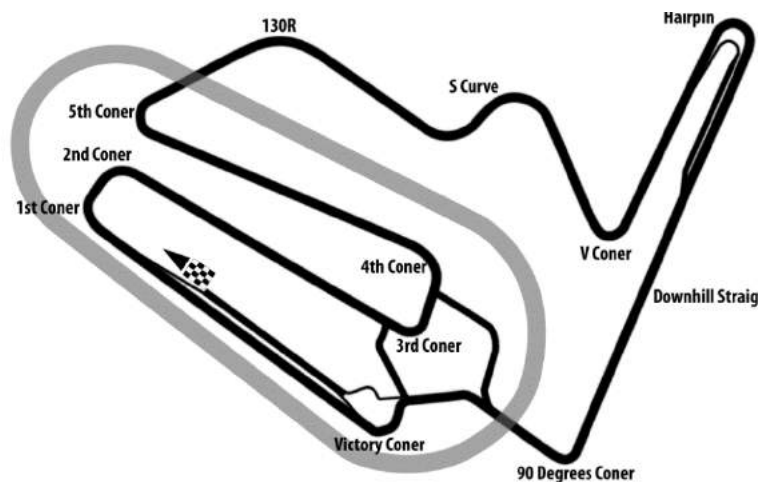
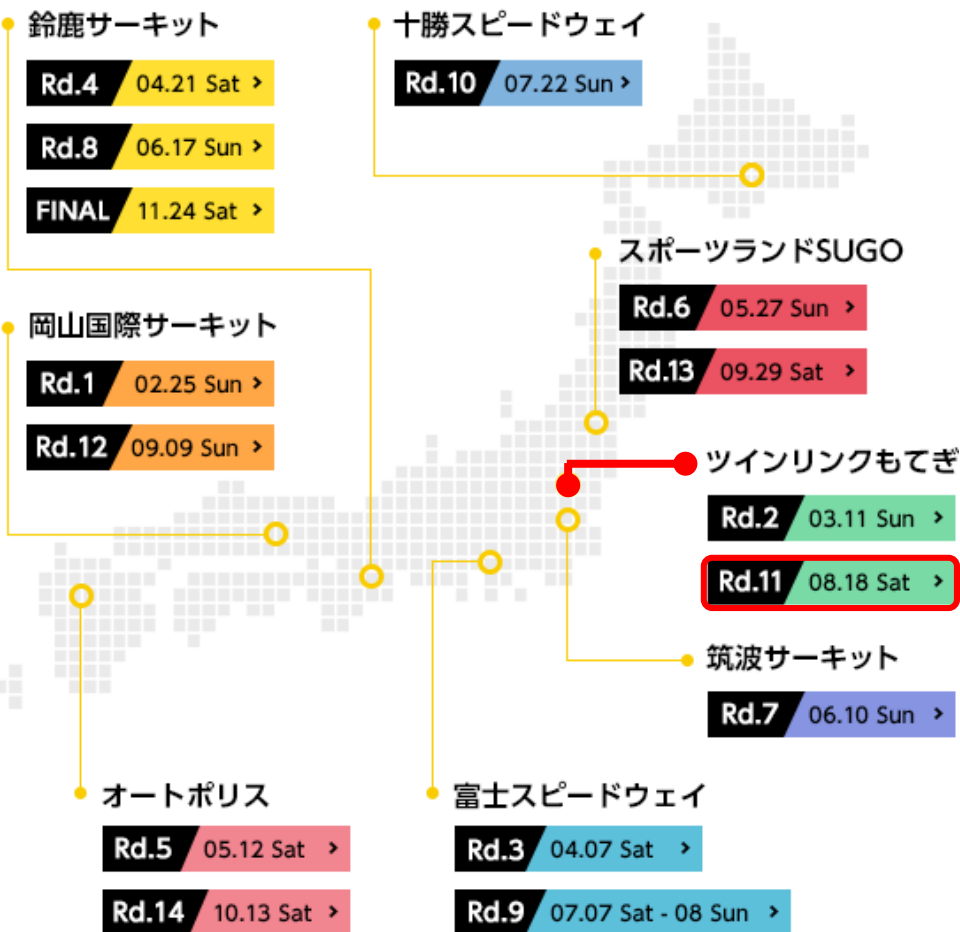


2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT



前戦の富士から約一か月、今シーズン2回目の開催となる第11戦ツインリンクもてぎ。
第2戦では優勝しており、ドライバーとダンロップタイヤの相性も良く、十分に自信を持っているコースです。

前戦の富士で課題だった新しい車両のナラシも済み、フィーリング的に前のマシンに近づいている事も事前のテストで確認していました。
レースウィークは一気に気温が下がる予報の為、予選の気温に合わせたセッティングを早めに見つけることが大きな課題となりそうです。



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

公開練習

一日を通して安定したタイムを記録、フィーリングも上々で戦闘力があることを確認

予報通りの天候で一気に気温が下がり、非常に過ごしやすい気候の中でレースウィークを迎えた。台風の影響が残っているためか風が強く、車高の高いN-ONEではダウンヒルで大きく挙動が乱れ、コントロールが難しい状況が一日通して続いていた。

FF特有ではあるがリア周りの挙動が悪く、旋回中の跳ね方が大きいためロール量を保てず、毎周バラつきが出てしまっていた。一方で、富士で課題として残った立ち上がりのもたつき感は大きく改善されており、2本目で投入したMIDLAND Walzerのフレッシュオイルの効果もあり全体で3番手に食い込むことが出来た。



ツインリンクもてぎ2&4レース
2018 N-ONE OWNER'S CUP Rd.11
N-ONE

2018-08-17
WEATHER: Fine
COURSE: Dry
Road Course 4.801379Km

0817 専有走行②結果表

Pos	No	Name	Time	Delay	Gap	Lap	CarName
1	998	福原 直一	2:48.001	102.89km/h		7/11	N-ONEホンダカーズトヨタ
2	200	西條 倫規	2:48.079	0.078	0.078	10/11	カーズ東京中央200N-ONE
3	127	小林 天翔	2:48.610	0.609	0.531	3/11	MLスウォーリーJETN-ONE
4	36	阿久津 敏寿	2:48.619	0.618	0.009	4/10	DLスウォーリーWMN-ONE
5	123	小山 美庵	2:48.744	0.743	0.125	4/10	チームホンダマガジンN-ONE
6	01	HGRS	2:48.754	0.753	0.010	9/10	
7	34	石坂 瑞基	2:48.758	0.757	0.004	4/11	YHアウティスタN-ONE
8	69	寺地 晃正	2:48.975	0.974	0.217	3/10	MLスウォーリー99N-ONE
9	60	原田 健太	2:48.983	0.982	0.008	4/11	TACSスピードガンN-ONE
10	373	清原 章太	2:49.250	1.249	0.257	5/10	HC茨城南40周年N-ONE号
11	97	松本 拓也	2:49.518	1.517	0.268	4/9	N-ONE Modulo-X
12	5	熊谷 敏	2:49.598	1.597	0.080	3/9	クアドライブ小原商店N-ONE
13	38	岩間 浩一	2:49.973	1.972	0.375	4/11	HCMのSUPERのN-ONE
14	58	水野 稔也	2:49.990	1.989	0.017	10/11	→オメガムでんN-ONE
15	719	谷津倉 宏光	2:50.209	2.208	0.309	4/12	コンドレーションN-ONE
16	190	思堂 一将	2:50.410	2.409	0.111	6/12	BRP+BDRP N-ONE
17	909	野田 弘樹	2:50.571	2.570	0.161	4/11	テルルN-ONE
18	110	野寺 純也	2:50.656	2.655	0.085	10/10	セッキー N-ONE
19	101	川端 健太	2:50.831	2.830	0.175	7/12	チームトップガンN-ONE
20	710	岡村 英莉	2:50.989	2.988	0.158	6/11	SpTecN-ONEあみたん娘
21	105	箕浦 雄二	2:51.013	3.012	0.024	3/11	HCMerwithのN-ONEこ
22	98	吉田 裕貴	2:51.314	3.313	0.301	4/9	N-ONE Modulo
23	83	飯田 真也	2:51.578	3.577	0.264	10/12	ArsopstainN-ONE



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

予選タイムアタック

想定外のオーバーステアの中、ギリギリでまとめたラップでセカンドローを獲得

9時過ぎから行われた予選は前日よりも気温が下がっていたこともあり、47秒前半での争いになると予想していた。チームメイトを含むDLタイヤの3台で続けて出走し、一発のアタックに集中する。内圧を気温に合わせて高めに設定した影響により、リアタイヤのグリップが激減。想定外のオーバーステア傾向に変化してしまう。難しい状況ではあったものの、想定通りの47秒1を記録し2番手につける。

その後、もうワンアタックするもののタイム更新することは出来ず、終盤に強いヨコハマ勢が続々とタイムを更新してくる。最終的に前後に入られる形で4番手となった。トップからは1秒離されているものの、十分に表彰台を狙える位置につけることが出来た。

2018年全日本スーパーフォーミュラ選手権第5戦
2018年全日本フォーミュラ選手権第10戦(551000km)
2018年全日本フォーミュラ選手権第10戦(551000km)

002

2018-08-18 10:50
WEATHER: Fine
COURSE: Dry
Road Course 4.801379Km

公式予選 正式結果表

Pos.	No.	Name	Time	Delay	Gap	Lap	CarName
1	998	福原 隼一	2'46.155	104.03km/h		5/5	N-ONEホンダカーズトヨタ
2	36	阿久津 敏寿	2'46.658	0.503	0.503	2/3	DLスワラーJWMN-ONE
3	200	西郷 倫規	2'47.107	0.952	0.449	3/5	カーズ東京中央200N-ONE
4	127	小林 天輝	2'47.159	1.004	0.052	2/6	MLスワラーJETN-ONE
5	97	松本 拓也	2'47.449	1.294	0.290	3/7	N-ONE Modulo-X
6	123	小山 美桜	2'47.686	1.531	0.237	3/7	チームホンダマジックN-ONE
7	60	原田 健太	2'47.782	1.627	0.096	6/6	TACスピードフロン-ONE
8	69	寺地 隼正	2'48.111	1.956	0.329	4/6	MLスワラーJBSN-ONE
9	34	石坂 理基	2'48.464	2.309	0.353	3/4	YHアウティスN-ONE
10	38	岩間 浩一	2'48.571	2.416	0.107	3/6	HCM+SUPER+M-ONE
11	373	清原 尊太	2'48.749	2.594	0.178	5/7	HC茨城南の国年N-ONE号
12	58	水野 隼也	2'48.885	2.730	0.136	3/7	ωクリオアルジュンN-ONE
13	5	熊谷 駿	2'48.942	2.787	0.057	3/5	ケアドライブ小原商店N-ONE
14	101	川端 健太	2'48.962	2.807	0.020	2/7	チームダンロップN-ONE
15	909	野田 弘樹	2'49.327	3.172	0.365	3/7	テルN-ONE
16	710	岡村 英樹	2'49.348	3.193	0.021	6/7	SpTecN-ONEあみたん娘
17	190	恩塚 一将	2'49.990	3.835	0.642	2/6	BRP+BDTP N-ONE
18	83	飯田 真也	2'50.158	4.003	0.168	2/7	AragostajN-ONE
19	27	手塚 篤史	2'50.177	4.022	0.019	2/6	HC野崎MP4/SBN-ONE
20	110	野寺 純也	2'50.201	4.046	0.024	4/7	セッキョー N-ONE



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

決勝

アグレッシブな走りで会場を沸かせるオーバーテイクを魅せ、表彰台を獲得！

決勝は気温25.1度、路面43.5度、湿度43%とDLタイヤにとって絶好のコンディションで決勝レースを迎えた。ヨコハマ勢のペースが上がってくる3周目までにいかに前に出られるか、マージンを築けるかが勝負どころ。

得意のスタートでは3番手に並びかけるがインを締められ、グリーンに飛び出してしまふ。体制を立て直して4番手をキープしたままダウンヒルストレートへ。スリップをギリギリまで使いアウト側から並び90度コーナーで前に出ること成功。

2番手を追いかけるが徐々にペースが上がらなくなり、今度は後続からヨコハマ勢の追撃を受け始めるがコンマ6秒の差を最後まで抑えきり4月の鈴鹿以来の表彰台を獲得した。



2018 N-ONE OWNER'S CUP RACE REPORT

前戦富士で浮き彫りとなったマシン面の戦闘力不足ですが、このもてぎ戦で大きく改善できていることをフィーリングだけでなく結果としても証明できたことに何より安心しています。

特にエンジンのもたつき感に関しては富士戦からミッドランドの中島社長、RGKの中本さん、宮本商会の宮本さんからの多くのアドバイス、サポートのおかげで大幅に改善することが出来ました。本当にありがとうございます。

前半戦ではタイヤの使い方、マネージメントに対して50%も理解できていませんでしたが、このもてぎで最後までペースを落とすことなく綺麗にタイヤを使い切ることが出来ました。この感覚を最終戦の鈴鹿で最大限発揮できるよう、シミュレータにて繰り返し練習を重ねていきます。

今回もレース参戦に際しましてご協力くださいましたスポンサーの皆さま本当にありがとうございました。

次戦参戦はSUGOもしくはオートポリスでの参戦を予定しております。
今後ともご支援・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

